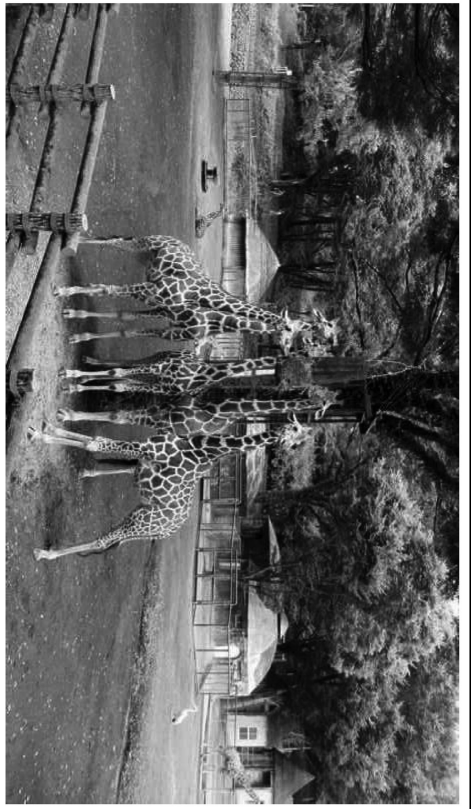


【図1 キリンのエントリーチケット(東京 Zoo ネット平成29.9.8付多摩動物公園のニュースより)】



アフリカに生息する野生のキリンはアカシアというマメ科の樹木の葉を主食としています。キリンは陸上でもっとも背の高い動物で、最大5~6メートルにもなります。そのおかげで他の草食動物が食べられない高い位置にある樹木の葉を食べることが出来ます。多摩動物公園では、キリンが高い位置の植物を食べるようすを観察できるよう、2001年からサバネン放飼場にリフト式の給餌器を設置し、地上から約3.5メートルの高さに給餌器を持ち上げられるようにしました。現在は、空中に吊るした給餌器をロープウェイの要領でスライドして動かすコンド方式に改良し、高い位置で給餌しています。コンドラ式給餌器に入れるえさは、アカシアと同じマメ科のルーサン(別名アルファルファ)という乾草です。ルーサンはタンパク質やカルシウムが多いことが特徴で、キリンは非常に好みます。多摩動物公園ではキリンの主食のひとつです。

【表11 令和6年度恩賜上野動物園園内プログラムの実績】

内容 (実施回数・対応人数)	
・動物解説員による動物ガイド (172回 2,955名)	
・飼育係のおはなし (876回 18,367名)	
・東京動物園ボランティアーズによるスポットガイド (639回 84,350名)	

【表12 現地に解説サインがあるエントリーチケット】

実施年度	園名	展示名	内容
令和5年度	恩賜上野動物園	ゾウ	皮膚を保護するための泥パック

イ 混雑ワツツの周知を園内において行うべきもの

恩賜上野動物園では、令和6年度から、図2のとおり、パンダやトラなど混雑する動物舎等10カ所について、来園者が混雑状況をリアルタイムに把握して、より快適に観覧する一助とするため、WEBサイトにリアルタイムの混雑状況を表示する「混雑ワツツ」を設けている。混雑ワツツの運用は、表13の契約により、委託して行っている。これは、WEBカメラで混雑状況を判定する場所を撮影し、受託者がシステムにより混雑状況を判定して、判定結果を園のWEBサイトに図2のとおり表示するものである。

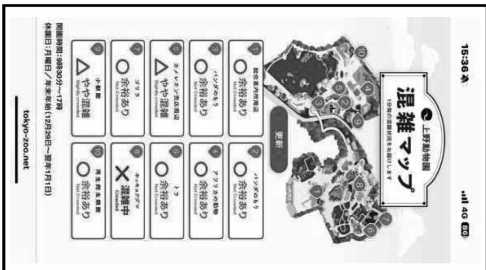
ところで、上野動物園公式サイト(東京 Zoo ネット内)を見ても、図3のとおり、トップページでは混雑ワツツがあることがわからず、「園内ワツツ」をタップして初めて混雑ワツツがあることがわかる画面に移る構成となっており、園が混雑ワツツを公開していることを知らなければ、混雑ワツツを探せない状態となっている。

しかしながら、園は、園の入りに、入園者に混雑ワツツの存在を知らせる表示も、URLを知らせる二次元バーコード等も表示していない。また、入園券や入園時に配布しているリーフレット「上野動物園ワツツ」にも表示していない。

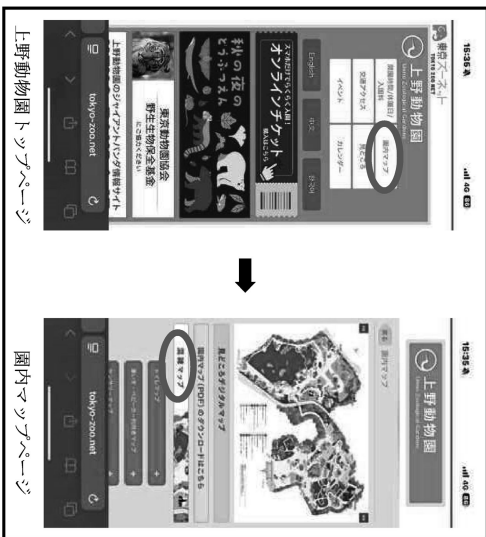
協会は、混雑ワツツについて、来園者がわかるようより効果的な周知を行われたい。

(公益財団法人東京動物園協会)

【図2 混雑ワツツ】



【図3 混雑ワツツへの画面遷移】



【表13 契約の概要】

混雑ワツツ運用委託	契約件名	契約期間	契約金額
		令和6.4.1~令和7.3.31	1,342,000

(単位：円)